

絵本「新日鉄の新・モノ語りシリーズ」第三巻



鉄から生まれる  
**新・モノ語り** 発刊

新日鉄では、このたび小中学生などを対象にし、当社の取り組みをわかりやすく紹介した絵本“新・モノ語りシリーズ”『鉄から生まれる“新・モノ語り”』を発行しました。『地球にやさしい“新・モノ語り”』（2001年7月発行）『みんなの地球の“新・モノ語り”』（2002年7月発行）に続く第三巻です。

“モノづくり”の楽しさを  
わかってもらいたい。

“新・モノ語りシリーズ”は、当社が月刊総合誌『文藝春秋』に毎月掲載している広告から「ものづくり」「環境」に関するテーマを選び、物語風の絵本にしたもの。今回は、当社のコア・コンピタンス「ものづくり」に焦点をあて、テーマを「自動車用鋼板」「表面処理鋼板」としました。営業広報誌『ニッポン・スチール・マンスリー』掲載のシリーズ「モノづくりの原点 科学の世界」にもリンクしています。

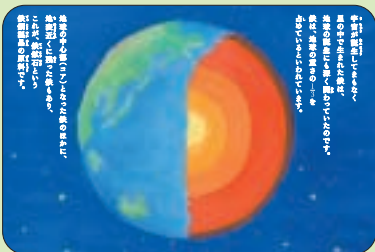
第一巻・第二巻には、子供たちの他に、主婦、学校関係者、地域でボランティア活動をする皆様などから500通を超える多くの反響を頂き、これまで合計で約10万部を発行しました。当社技術開発本部の第一線の研究者が編集に参

画しており、最先端の高度な技術をわかりやすく理解していただくことを狙っています。この本を通じ、子供達に、鉄は身近で頼りになる可能性のある素材で、「ものづくり」は不思議で楽しく、社会の発展、環境保護、安全に大きな貢献ができる、ということを知ってもらえるよう心がけました。

「鉄」の知恵袋「ソクラテツ」を進行役に、「ソクラテツ」が生み出したハイテンロボ「一鉄」が移動用超高性能カー「ハイテン1号」を駆使して難問に立ち向かい、鉄ロボ女の子「テツミー」を救うというテンポの良い展開です。「もう少し詳しく知りたい」子供たちに応えるため、「ソクラテツの知恵袋」コーナーを3カ所設けました。

当社ホームページでも、『動く絵本 新日鉄の新・モノ語り』をお楽しみいただけますので、ぜひアクセスしてください。

絵本第三巻の主な内容



『プロローグ』地球の重さの三分の一を占める鉄。それは、はるか遠い昔に、宇宙がくれた贈り物だったのです。



『進化はミラクル』強いのに軟らかくより加工しやすいハイテンが、かっこよくて、強く、安全で、おまけにCO<sub>2</sub>の発生が少ないクルマを実現させました。



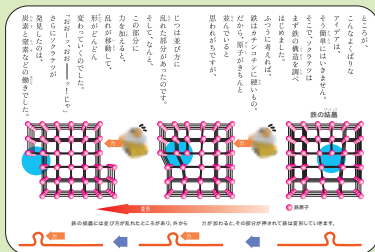
『鉄の知恵袋』ソクラテツいわく、「鉄なくして、文明の発展はありません…。鉄は進化し続ける素材なのでアール！」



『宿敵サビとの戦い』ソクラテツと一鉄が結びて悩む街アイアンタウンに住む「テツミー」をめっきで救う。めっきでアイアンタウンは生まれ変わり、テツミーはみるみるとキレイに！



『誕生ハイテンロボ』軟らかいけど頑丈な鉄のロボット「一鉄」と、超高性能カー「ハイテン1号」が誕生しました。



『ニッポン・スチール・マンスリー』の「モノづくりの原点」とリンクしています。

## 教育関係者も新日鉄の広報活動に注目

去る10月31日、第41回全国小学校社会科研究協議会研究大会（会場：東京・新宿区立西戸山小学校）で、八幡製鉄所における社会科学習「世界一の鉄づくり 八幡製鉄所のひみつをさぐれ！」をテーマに北九州市立中原小学校の高松先生が発表されました。その研究大会に参加された先生方のコメントを一部紹介します。なお、中原小学校と当社八幡製鉄所との社会科学習の様子および交流については、『ニッポン・スチール・マンズリー』の2003年4月号でも紹介していますので、あわせてご参照ください。



全国小学校社会科研究協議会研究大会での発表  
発表者 北九州市立 中原小学校教諭 高松 淳子先生  
司 会 北九州市立 藍島小学校教頭 庄展彦先生  
指導・助言 北九州市立 赤碓小学校校長 安部大眞先生  
ゲスト・ティーチャー 八幡製鉄所 生産業務部 マネジャー 河野 捷紀

## 先生方のコメント

北九州市立中原小学校教諭 高松 淳子先生



この間、子供たちが、自ら学び、自ら考える力を育てる学習を推進してきましたが、その中では、子供たちに自ら気付かせ、ゆさぶり、考え合う教育を追究し、実践することが大切でした。本物を知る喜びを持つために、新日鉄八幡製鉄所の「品質の良さ」に焦点を当てた授業を行ってきました。製鉄所との3ヶ月間の交流では、鉄づくりの専門の方たちから直に教わることで、子供たちの学習がとて深まりました。

また、今回絵本を拝見しましたが、企業がこうした子供向けの教材を10万部も発行している例はあまり聞いたことがありません。企業が社会に向け、わかりやすいメッセージを継続して発信することは、とても大切だと思います。

北九州市立藍島小学校教頭 庄 展彦先生



身近でありながら、身近でない存在の鉄に気付き、それを追究していく授業は意味のあるものでした。これからの企業は循環型社会の構築を通じて、地域社会とも連携し、コミュニケーションをはかることがなくては、存在価値が無くなります。そのような点で、新日鉄の活動に期待しています。

北九州市立赤碓小学校校長 安部 大眞先生



ものづくりで立国している日本の現状と将来を考えると、子供たちに日本の工業について教える際に、最良の教材は「鉄」ではないかと思います。

国民生活を支える「鉄」は芸術品ともいふべき素晴らしい社会資本や工業製品を生み出しています。ただ、残念なことに、素材が見えにくいという点が課題ですが、北九州市における教育の実践事例を見ると、実は鉄が身近にあり、役立っていることが良く分かります。スチール缶リサイクルの事例から見ても、鉄は資源循環型社会の切り札です。製鉄所が年間10万人にも上る見学者を受け入れ、積極的に情報発信し、相互交流していることに加え、この「絵本」の発行など、全社的にもものづくりや環境への取り組みをわかりやすく発信していることは良い事だと思います。

教育実践の立場からは、教材が面白く、知的発見があることも重要です。その点でも鉄鋼業では天然資源である鉄鉱石を1,300 もの高温で溶かし、純度の高い製品を生み出す点で、わくわくするような仕事をしており、子供たちが、自ら「問いを生み出す」きっかけづくりにもなります。その中で、お互いが考え合うことも可能ですから、鉄鋼業は「水をやって育てる」教育の最良の教材です。まさにこれから広がっていく総合学習のテーマとしても最高のテーマなのではないでしょうか。

## 絵本をご希望の方に プレゼントします

絵本を希望の方は下記によりお申し込みください。  
無料にてプレゼントします。また、お読みいただきましたら同封の返信葉書にてご感想をぜひお寄せください。  
お待ちしております。

### <申し込み先・方法>

官製はがきの場合：〒100-8071 東京都千代田区大手町2-6-3  
新日鉄 総務部広報センター「絵本M係」  
webの場合：<http://story.nsc.co.jp>  
あるいは <http://story.nsc.co.jp/artbook/artbook.html>  
FAXの場合：03-3275-5611

### <記入事項>

- 希望する絵本および各希望部数  
第3巻『鉄から生まれる 新・モノ語り』（今回発行 ものづくり編）  
第2巻『みんなの地球の 新・モノ語り』（2002年7月発行 環境編）  
第1巻『地球にやさしい 新・モノ語り』（2001年7月発行 環境編）
- 送付先の住所（はがき・FAXの場合）  
お名前  
e-mail（今後、当社からのお知らせを送信します）